

2022年10月26日

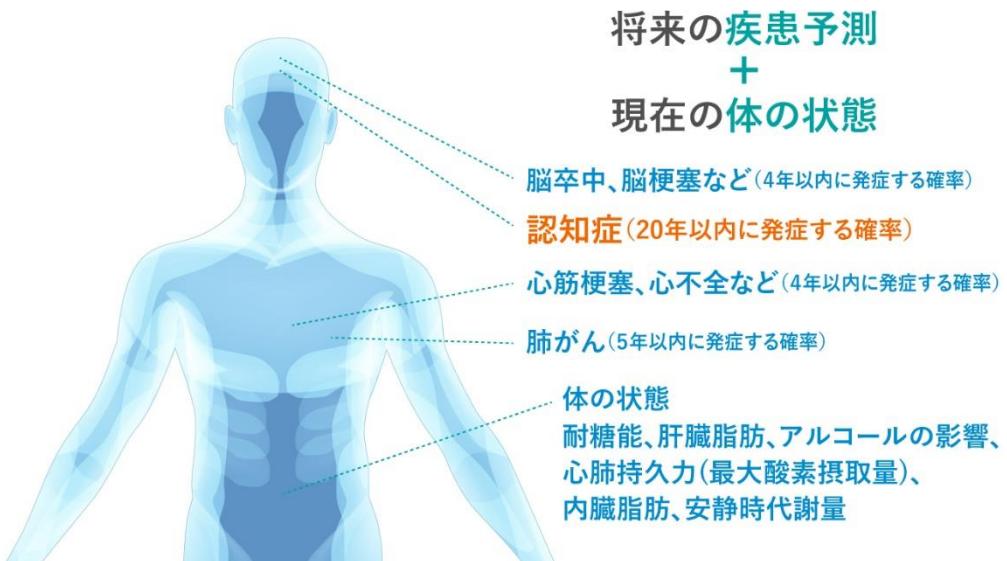
報道関係各位

フォーネスライフ株式会社

デジタルヘルスケアサービス「フォーネスピビジュアス」 認知症発症リスク予測をリリース

～少量の血液でタンパク質を分析し、将来の発症リスクを可視化～

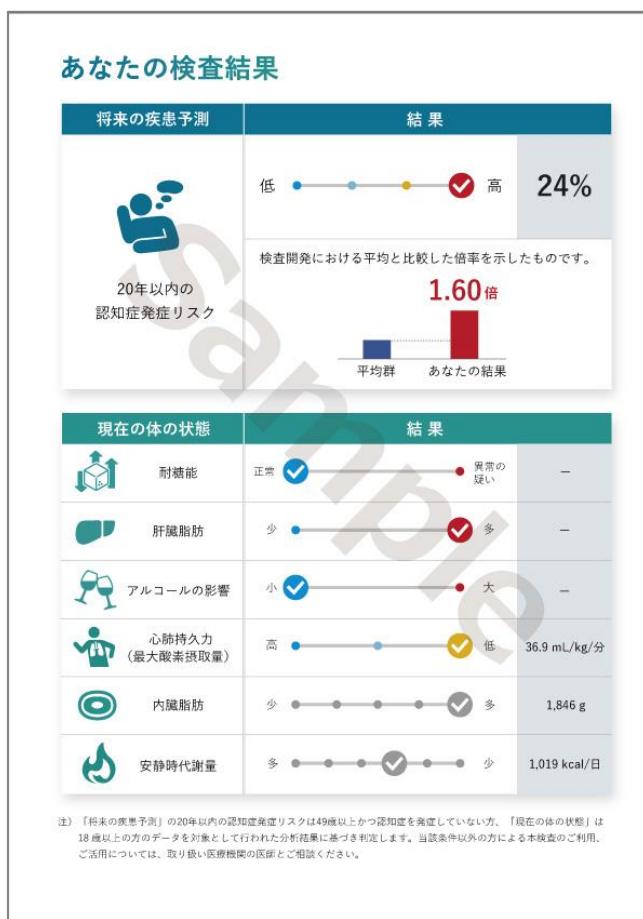
今の血液で将来の疾病の発症確率を予測する検査サービス(注1)を、医療機関を通して提供するフォーネスライフ株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役CEO：江川 尚人)は、デジタルヘルスケアサービス「フォーネスピビジュアス(FonesVisuas)」に、検査日から20年以内に認知症が発症するリスクを予測する検査項目を新たに追加し、10月26日から取り扱い医療機関で順次提供を開始します。



「フォーネスピビジュアス」は「早期発見よりもっと早く」のコンセプトのもと、少量の血液で約7,000種類のタンパク質を一度に測定する日本初の技術を活用した検査サービスを2020年に提供開始(注2)し、これまで心筋梗塞や脳卒中、肺がんの将来の発症リスクを可視化し、生活習慣の改善を含めたトータルサポートをしてきました。

今回新たに追加する認知症の検査は、特定の集団を長期間にわたって追跡し

た欧米の研究(注 3)において、採血・収集された血液中のタンパク質を分析・統計解析して開発しました。20年以内の認知症発症リスクを4区分で判定し、『発症リスク(%)』と、検査開発における平均と比較して「何倍発症しやすいか」を意味する『発症リスク倍率』で示します。なお、本サービスはNECソリューションイノベータ株式会社が取り組む名古屋大学・国立長寿医療研究センターとの共同研究や専門医などの評価を受けて、日本人への適用の妥当性を確認しました。



「将来の疾患予測（認知症発症リスク）」と
「現在の体の状態」の検査結果報告書イメージ

【背景】

「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(注 4)では、2025 年には 65 歳以上の人口は 3,600 万人以上にのぼり、うち 19% (約 5 人に

1人)が認知症を発症するという推計があります。また、2040年には総人口の約35%にあたる3,900万人以上が65歳以上になると推計され、高齢化の進展とともに、認知症患者数の増加が予測されています(注5)。

厚生労働省の調査(注6)によると、要介護者において介護が必要となった主な原因として、「認知症」が24.3%で最も多く、発症した患者だけでなく、その家族にも負担がかかることが少なくありません。介護生活につながる要因のひとつである認知症を予防することで健康寿命を延ばし、高齢者が自立した生活を送ることが重要視されています。

そこで、今回フォーネスライフは、「フォーネスピビジュアス」の「将来の疾患予測」の検査項目に新たに認知症発症リスクを追加しました。

【サービスの概要】

1. 約7,000種類の血中タンパク質測定によるリスク予測

少量の血液で、約7,000種類のタンパク質を一度に測定する日本初の技術を活用しています。心筋梗塞や脳卒中、肺がんなどの疾病に加え、今回新たに認知症を追加しました。約7,000種類のタンパク質のうち25種類の血中タンパク質のパターンを分析することで、“認知症が20年内に発症するリスク”を判定します。

また、「フォーネスピビジュアス」の検査項目を増やす取り組みも推進し、今後乳がんや胃がん、すい臓がんなどの検査項目を増やすなど、将来的には50以上の疾患のリスク予測の実現を目指しています。

2. 「生活習慣フォロー・改善アプリ」の提供

「フォーネスピビジュアス」のスマートフォン向け専用アプリ(注7)で生活習慣改善メニューを提供し、健康への意識を高めて日々の取り組みを支援しています。

さらに今後、小型脳活動センサーで脳の活動状態を計りながら、自分に合った脳のトレーニングをスマートフォンアプリで行うことができる、株式会社NeUのActive Brain CLUBと組み合わせたサービスの提供も予定しています。本サービスは小型脳活動センサーで脳波を計り、脳の活動をリアルタイムに見

える化することで、脳の状態を意識しながら、自分にあった脳のトレーニングを行うことができます。Active Brain CLUB 専用アプリは、株式会社 NeU 取締役 CTO 川島隆太博士による脳科学研究の成果に基づき設計されています。

川島隆太プロフィール：東北大学加齢医学研究所所長

研究テーマ:脳機能イメージング

3. コンシェルジュサービスによる健康相談

認知症の発症には、ライフスタイルが大きく関わるとされ、WHOによる予防ガイドライン(注 8)でも、生活習慣病の適切な管理および生活習慣の改善が推奨されています。

本サービスでは、検査結果をもとに、保健師の資格を持つコンシェルジュと食事や運動などの生活習慣の改善に関してオンラインで相談(注 9)し、具体的な改善メニューの提案を受けることができます。

【価格および販売目標】

フォーネスピジュアス（認知症発症リスク予測）は、フォーネスライフオンラインマーケットで先行申し込み限定価格にて受付中です。詳細は以下でご確認ください。

URL : <https://foneslife.com/special/fonesvisuas-2210c-lp/>

フォーネスピジュアス（心筋梗塞・脳卒中/肺がんリスク予測）は、「Makuake（マクアケ）」にて販売中（数量限定特別価格）です。詳細は以下でご確認ください。

URL : <https://www.makuake.com/project/fonesvisuas/>

※この検査に健康保険は適用されません。

フォーネスピジュアス販売目標： 2025 年度までに 300 万人のご利用を目指します。

フォーネスライフは、本サービスを通して、“今”と“将来”的健康状態、病気

にかかるリスクを分かりやすく可視化し、個々に合った改善策を提案することで、人々の健康を支えるとともに、“当たり前に病気を予防できる未来”の実現を目指していきます。

【自治体向けのサービス展開予定】

自治体向けのサービス展開として、地域住民・地域企業に対して「フォーネスピジュアス」のスマートフォン向け専用アプリ、およびフォーネスピジュアス検査を提供します。現在は熊本県荒尾市（市長：浅田 敏彦）と共に、認知症も含めた本サービスの保健・介護事業への導入準備を進めており、今後他の自治体にも展開していく予定です。

【フォーネスピジュアス検査（認知症発症リスク予測）取り扱い医療機関】

■先行取り扱い開始医療機関

- ・あたまと体のヘルスケア・クリニック神田

東京都千代田区神田須田町 1-10-42 エスペランサ神田須田町 2F

- ・オリエンタル上野健診センター

東京都台東区上野 1-20-11 上野鈴乃屋本店ビル 地下 1 階

- ・オリエンタルクリニック

愛知県名古屋市千種区今池 1-8-5

- ・名古屋ステーションクリニック

愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-17 名古屋ビルディング 8、9 階

- ・堂島ライフケアクリニック

大阪府大阪市北区曾根崎新地 1-3-16 京富ビル 4F

- ・オリエンタル労働衛生協会 大阪支部（大阪健診センター）

大阪府大阪市中央区久太郎町 1-9-26 LUCID SQUARE SENBA

■2023年1月からの取り扱い開始医療機関

- ・恵佑会第2病院

北海道札幌市白石区本通 13 丁目北 7 番 1 号

- ・金沢古府記念病院
石川県金沢市古府 1 丁目 150
- ・高松紺屋町クリニック
香川県高松市紺屋町 5-3
- ・青木優美クリニック
福岡県福岡市博多区博多駅東 2-5-33 ゲートスクエア博多駅前 3F

なお、認知症発症リスクの提供開始に伴い、取り扱い医療機関を募集しています。資料のご請求や導入に関するお問い合わせは、メールもしくは下記お問い合わせフォームよりご連絡ください。

<メールでのお問い合わせ>

Email : contact@foneslife.com

<医療関係者専用お問い合わせフォーム>

URL : <https://medical.foneslife.com/contact/>

以上

(注 1) 約 7,000 種類のタンパク質を一度に測定する SomaLogic 社の技術を活用した、日本で初めての検査です。心筋梗塞や脳卒中などの疾病と血中タンパク質の関係性を明らかにするため、幅広い分野の専門家の協力を得ながら、国内外の研究データを活用しています。複数のタンパク質を総合的に評価することで、1つ1つを個別に評価するだけでは分からなかった、“今”と“将来”的な健康状態、病気にかかるリスクを可視化し、医療機関の医師を通してご提供します。

※ SomaLogic(ソマロジック)社の解析技術を活用した検査は、日本国内ではフォーネスピジュアスが初めてかつ唯一です。

※ 本検査は、個人が医療機関を受診することで利用いただけます。検査結果は、医療機関の医師の診療として個人に提供されます。

※ 医師の判断によることなく、本検査の結果を、疾病の診断・治療・予防等に用いることは

できません。診医療機関の医師とご相談のうえ、健康改善にお役立てください。

※ 本検査は、その結果の正確性や、他の検査方法と同等の結果の提供を保証するものではありません。

※ 疾患予測は、将来の発症リスクを評価するものであり、現在の疾病の罹患状況を判定するものではありません。

※ 将来の疾患予測に関する検査結果は、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。

※ 採血時間の指定及び食事制限はありません。

(注 2) 2020 年 12 月 2 日配信プレスリリース「フォーネスピジュアスを提供開始」

<https://foneslife.com/news/20201130-1/>

(注 3) the Atherosclerosis Risk in Communities study

<https://sites.cscs.unc.edu/aric/>

(注 4)出典：日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究
二宮利治：厚生労働科学特別研究(2014)

<https://mhlw-grants.niph.go.jp/system/files/2014/141031/201405037A/201405037A0001.pdf>

(注 5)出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」

http://www.ipss.go.jp/pp-zenkoku/j/zenkoku2017/pp_zenkoku2017.asp

(注 6)出典：厚生労働省「2019 年国民生活基礎調査の概況」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa19/index.html>

(注 7)アプリは、利用者の生活習慣の改善、健康意識の向上を目的としており、疾病の予防、診断、治療等を目的とするものではありません。

(注 8) 出典：World Health Organization 「RISK REDUCTION OF COGNITIVE DECLINE AND DEMENTIA (2019) 」

<https://www.who.int/publications/i/item/9789241550543>

(注9)健康相談は、利用者の生活習慣の改善、健康意識の向上のため的一般的な医学情報の提供を目的としており、疾病の診断、治療その他利用者の個別的な状態を踏まえた医学的判断を行うものではありません。

【参考】フォーネスライフの概要

会社名	フォーネスライフ株式会社 (FonesLife Corporation)
所在地	東京都中央区日本橋本町三丁目 8-3
代表者	代表取締役 CEO 江川 尚人
資本金	325 百万円(NEC ソリューションイノベータ株式会社 100%)
事業内容	血中タンパク質測定 健康状態の測定およびその改善に係るサービス事業 関連する情報関連サービスの提供 など
URL	https://foneslife.com/

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

<「フォーネスビジュアス」一般のお客様向けについて>

URL : https://foneslife.com/service/diseaserisk_measurement/

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

フォーネスライフ マーケティング本部

E-Mail : contact@foneslife.com

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

フォーネスライフ 広報事務局

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788 E-Mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 小室 (携帯 : 090-5537-8309) 担当 : 杉村 (携帯 : 070-1389-0175)